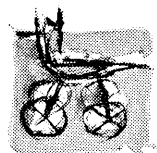


倉橋賞を受賞して



井 桁 佐 以 子

日ごとに成長する幼い生命をみつめつつ、その成長を追って、私たちの研究は曲りなりにも一日一日と続けてきたのでしたが本当に思いがけず倉橋賞をいただき、言い尽せないほどの喜びでございます。

この一年の私たちの研究は、三歳児という、ごく限られた範囲の小さな研究でありますが三歳児の姿をとらえるための第一歩として始めました。しかし、いざ始めてみますと、保育しながら観察記録をとったり写真を撮ったりすることがむずかしいことであり、多くの配慮と根気があることを改めて知らされました。またその観察方法や

記録のしかたなどについては、あらかじめ打合せて始めたことでしたが、始めてみますと更に細かい点についてさまさまの疑問がわき、その都度、話し合いを重ね、互いに意見を訂正し合いつつ進めていったのです。園での月ごとの研究の前日には、そのまとめで、すっかり日暮れてあわてて帰ったことも何度かあったことが今、思い出されます。もっと下準備をして臨んだら、このように研究の方針や、まとめに手間どらなかつたのではないかと思いましたが、たいへん、もたついた研究の進め方でありましたが一方私たちは、この、一つ

の小さな遊びの観察から子どもの成長を見、成長のはげしい幼児と接することのむずかしさと重大さを一層深く感じたのでした。

“しないよりはよい”と自分自身をほげましつつ、一年統けて学会にのぞんだ私たちにとって、これがむだな努力でなかつたことを知らされ、私たちはどんなに励まして、広範囲にわたる研究発表に接し、また長年にわたり研究に、保育に情熱をそそいでいる方たちの姿に深く感動させられました。

保育の道は、幼児の心をつめ育くむものである故に、また幼児の問題は単にそこに止まらず家庭や社会の問題に深くつらなるものである故に、私たちは、この中の広い仕ごとの、困難な壁に直面しては自信を失うこともしばしばですが愛情をもって今後も努力し、幼児の心身を強く豊かに育てよう努めたいと思います。(愛育幼稚園)